

アンケート集計結果(速報)

第3回新財源確保有識者会議資料

平成27年8月25日

目次

アンケート調査の実施概要	• • • • • • •	02
集計結果の見方	• • • • • • •	03
回答者属性データ	• • • • • • •	04
集計結果	• • • • • • •	05
まとめ	• • • • • • •	16

アンケート調査の実施概要

- **目的**

このアンケートは、町の財政状況や新たな財源確保に向けた取り組みについて、町民の皆さまのご認識を把握するため実施した。

- **実施時期**

平成27年7月22日～8月5日

- **実施対象**

箱根町民

- **実施方法**

郵送法（発送はメール便、回収は郵便を利用）

- **アンケート回収／配布数**

257／1,200（回収率21.4％）

- **有効回答数**

257

集計結果の見方

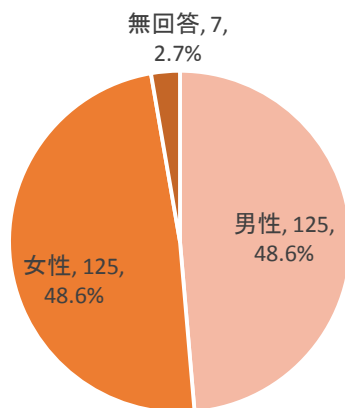
- 図表中の「n」とは、その質問での集計対象数のことである。
- 回答は、集計対象数を100%として算出し、小数点第2位を四捨五入している。このため、回答率の合計が、100%にならないことがある。
- アンケート集計にあたり、結果をより把握しやすくするため、以下の通り選択肢を集約している(以降のページではこの集約の方法を「2分法」と称する)。

問1～8の選択肢「よく知っていた」「ある程度知っていた」を「知っていた」に、「あまり知らなかった」「まったく知らなかった」を「知らなかった」にそれぞれ集約。

問9の選択肢「新たな負担の必要性は理解できる」「新たな負担の必要性はある程度は理解できる」を「新たな負担の必要性は理解できる」に、「新たな負担の必要性はあまり理解できない」「新たな負担の必要性はまったく理解できない」を「新たな負担の必要性は理解できない」にそれぞれ集約。

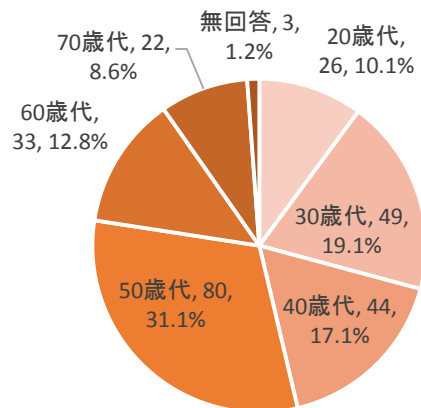
回答者属性データ

性別



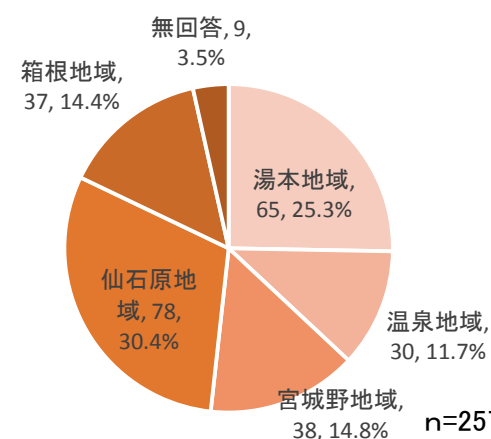
n=257

年齢層



n=257

お住まいの地域



n=257

	件数	割合
男性	125	48.6
女性	125	48.6
無回答	7	2.7
合計	257	100.0

	件数	割合
20歳代	26	10.1
30歳代	49	19.1
40歳代	44	17.1
50歳代	80	31.1
60歳代	33	12.8
70歳代	22	8.6
無回答	3	1.2
合計	257	100.0

	件数	割合
湯本地域	65	25.3
温泉地域	30	11.7
宮城野地域	38	14.8
仙石原地域	78	30.4
箱根地域	37	14.4
無回答	9	3.5
合計	257	100.0

集計結果：町税収入の減少について

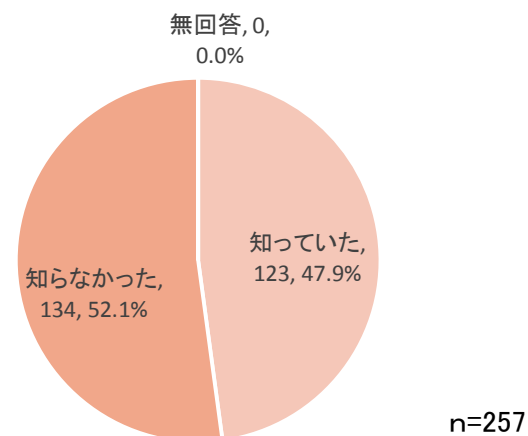
問1 町の町税収入が大幅に減少していることをご存知でしたか。(いずれか1つに○をつけてください)

集計結果

	件数	割合
よく知っていた	32	12.5
ある程度知っていた	91	35.4
あまり知らなかった	70	27.2
まったく知らなかった	64	24.9
無回答	0	0.0
合計	257	100.0

集計結果(2分法による再集計)

	件数	割合
知っていた	123	47.9
知らなかった	134	52.1
無回答	0	0.0
合計	257	100.0



- 町税収入の減少について、2分法による集計を見ると、約5割の回答者が「知っていた」と回答している。

集計結果：社会保障費の増加について

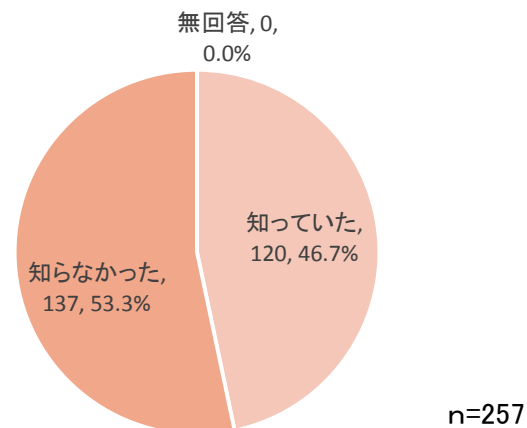
問2 町の社会保障費が大幅に増加していることをご存知でしたか。(いずれか1つに○をつけてください)

集計結果

	件数	割合
よく知っていた	23	8.9
ある程度知っていた	97	37.7
あまり知らなかった	73	28.4
まったく知らなかった	64	24.9
無回答	0	0.0
合計	257	100.0

集計結果(2分法による再集計)

	件数	割合
知っていた	120	46.7
知らなかった	137	53.3
無回答	0	0.0
合計	257	100.0



- 社会保障費の増加について、2分法による集計を見ると、約5割の回答者が「知っていた」と回答している。

集計結果：公債費の増加について

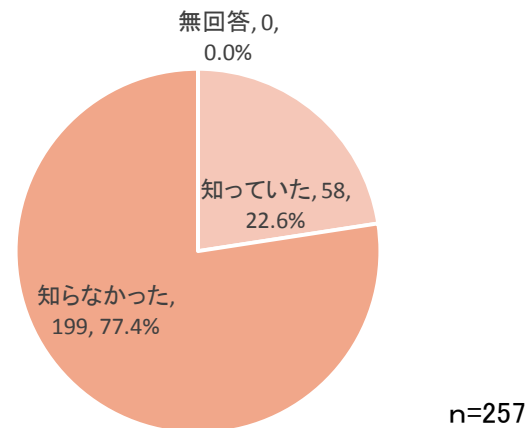
問3 町の公債費(借入金返済)が大幅に増加していることをご存知でしたか。(いずれか1つに○をつけてください)

集計結果

	件数	割合
よく知っていた	13	5.1
ある程度知っていた	45	17.5
あまり知らなかった	106	41.2
まったく知らなかった	93	36.2
無回答	0	0.0
合計	257	100.0

集計結果(2分法による再集計)

	件数	割合
知っていた	58	22.6
知らなかった	199	77.4
無回答	0	0.0
合計	257	100.0



- 公債費の増加について、2分法による集計を見ると、「知っていた」とする回答者は約2割にとどまる。

集計結果:事務量の増加について

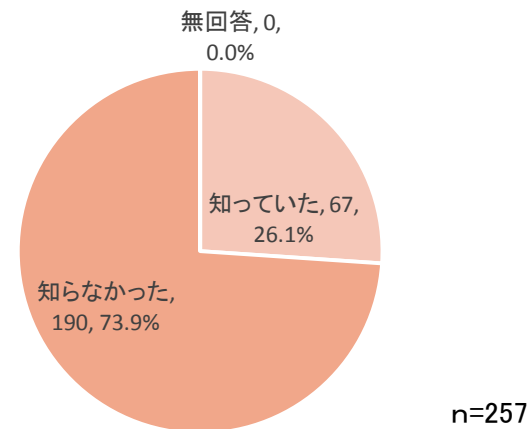
問4 町では介護保険などの制度改革や権限移譲などにより事務量が増加していることをご存知でしたか。(いずれか1つに○をつけてください)

集計結果

	件数	割合
よく知っていた	15	5.8
ある程度知っていた	52	20.2
あまり知らなかった	99	38.5
まったく知らなかった	91	35.4
無回答	0	0.0
合計	257	100.0

集計結果(2分法による再集計)

	件数	割合
知っていた	67	26.1
知らなかった	190	73.9
無回答	0	0.0
合計	257	100.0



- 事務量の増加について、2分法による集計を見ると、「知っていた」とする回答者は4分の1程度となっている。

集計結果：人件費の削減について

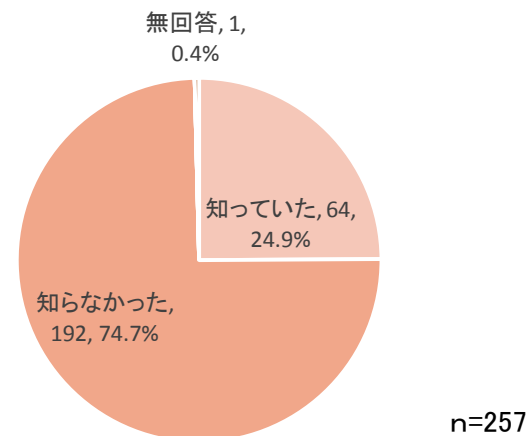
問5 町では10年以上にわたり人件費を削減してきていることをご存知でしたか。

集計結果

	件数	割合
よく知っていた	11	4.3
ある程度知っていた	53	20.6
あまり知らなかった	101	39.3
まったく知らなかった	91	35.4
無回答	1	0.4
合計	257	100.0

集計結果(2分法による再集計)

	件数	割合
知っていた	64	24.9
知らなかった	192	74.7
無回答	1	0.4
合計	257	100.0



- 人件費の削減について、2分法による集計を見ると、「知っていた」とする回答者は4分の1程度となっている。

集計結果：社会インフラの維持のための経費削減について

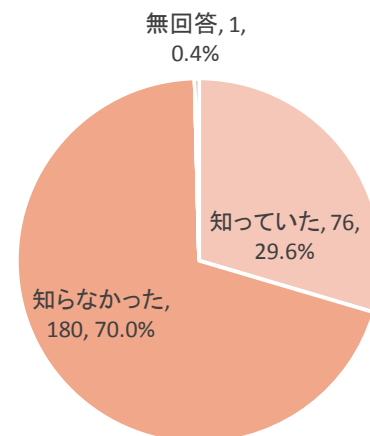
問6 町では建物や道路等の社会インフラの老朽化が進んでいるにもかかわらず、その維持のための経費を削減していることをご存知でしたか。(いずれか1つに○をつけてください)

集計結果

	件数	割合
よく知っていた	18	7.0
ある程度知っていた	58	22.6
あまり知らなかった	95	37.0
まったく知らなかった	85	33.1
無回答	1	0.4
合計	257	100.0

集計結果(2分法による再集計)

	件数	割合
知っていた	76	29.6
知らなかった	180	70.0
無回答	1	0.4
合計	257	100.0



- 社会インフラの維持のための経費削減について、2分法による集計を見ると、「知っていた」とする回答者は約3割となっている。

集計結果：基金の残高状況について

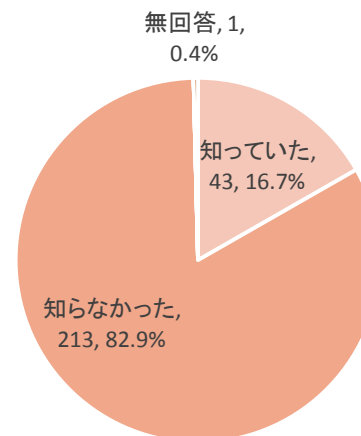
問7 町の基金(貯金)の残高がほぼ底をついていることをご存知でしたか。(いずれか1つに○をつけてください)

集計結果

	件数	割合
よく知っていた	11	4.3
ある程度知っていた	32	12.5
あまり知らなかった	90	35.0
まったく知らなかった	123	47.9
無回答	1	0.4
合計	257	100.0

集計結果(2分法による再集計)

	件数	割合
知っていた	43	16.7
知らなかった	213	82.9
無回答	1	0.4
合計	257	100.0



n=257

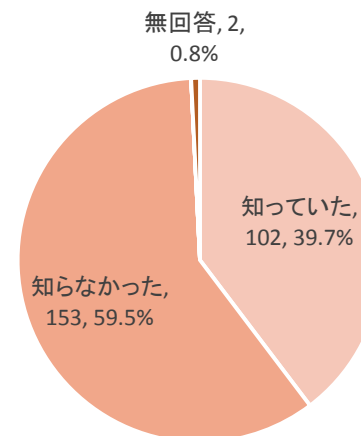
- 基金の残高状況について、2分法による集計を見ると、「知っていた」とする回答者は2割弱にとどまる。

集計結果：観光客対応のために一部行政サービスが高コストである点について

問8 町では、年間約2,000万人観光客を受け入れるため、ごみ処理や消防・救急、下水道などにかかる支出が人口規模の割に多くなっていることをご存知でしたか。(いずれか1つに○をつけてください)

集計結果

	件数	割合
よく知っていた	22	8.6
ある程度知っていた	80	31.1
あまり知らなかった	77	30.0
まったく知らなかった	76	29.6
無回答	2	0.8
合計	257	100.0



集計結果(2分法による再集計)

	件数	割合
知っていた	102	39.7
知らなかった	153	59.5
無回答	2	0.8
合計	257	100.0

- 観光客対応のために一部行政サービスが高コストである点について、2分法による集計を見ると、約4割の回答者が「知っていた」と回答している。

集計結果：新たな負担の必要性への理解について

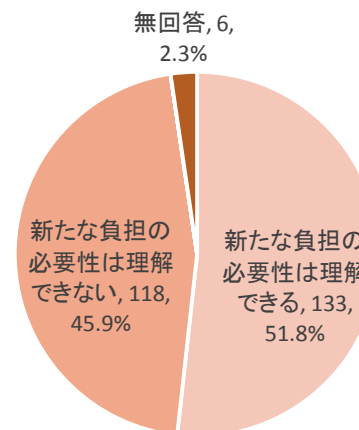
問9 町では、現在実施している事業を継続しつつ、将来を見据え必要である事業を着実に実施するため、今後、町民の皆さまに新たな負担をお願いすることも検討しています。これについて、あなたはどのようにお考えになりますか。(いずれか1つに○をつけてください)

集計結果

	件数	割合
新たな負担の必要性は理解できる	17	6.6
新たな負担の必要性はある程度は理解できる	116	45.1
新たな負担の必要性はあまり理解できない	73	28.4
新たな負担の必要性はまったく理解できない	45	17.5
無回答	6	2.3
合計	257	100.0

集計結果(2分法による再集計)

	件数	割合
新たな負担の必要性は理解できる	133	51.8
新たな負担の必要性は理解できない	118	45.9
無回答	6	2.3
合計	257	100.0



n=257

- 新たな負担の必要性への理解について、2分法による集計を見ると、「新たな負担の必要性は理解できる」とする回答者と、「新たな負担の必要性は理解できない」とする回答者の割合はそれぞれ約5割と拮抗している。

集計結果：財政状況の認知(問1～4)と新たな負担の必要性への理解(問9)

町税収入の減少(問1)×(問9)

	新たな負担の 必要性は理解 できる	新たな負担の 必要性は理解 できない	無回答	合計
全体	133 51.8%	118 45.9%	6 2.3%	257 100.0%
知っていた	62 50.4%	57 46.3%	4 3.3%	123 100.0%
知らなかった	71 53.0%	61 45.5%	2 1.5%	134 100.0%

社会保障費の増加(問2)×(問9)

	新たな負担の 必要性は理解 できる	新たな負担の 必要性は理解 できない	無回答	合計
全体	133 51.8%	118 45.9%	6 2.3%	257 100.0%
知っていた	62 51.7%	54 45.0%	4 3.3%	120 100.0%
知らなかった	71 51.8%	64 46.7%	2 1.5%	137 100.0%

公債費の増加(問3)×(問9)

	新たな負担の 必要性は理解 できる	新たな負担の 必要性は理解 できない	無回答	合計
全体	133 51.8%	118 45.9%	6 2.3%	257 100.0%
知っていた	27 46.6%	27 46.6%	4 6.9%	58 100.0%
知らなかった	106 53.3%	91 45.7%	2 1.0%	199 100.0%

事務量の増加(問4)×(問9)

	新たな負担の 必要性は理解 できる	新たな負担の 必要性は理解 できない	無回答	合計
全体	133 51.8%	118 45.9%	6 2.3%	257 100.0%
知っていた	37 55.2%	30 44.8%	0 0.0%	67 100.0%
知らなかった	96 50.5%	88 46.3%	6 3.2%	190 100.0%

- 問1～8と問9のクロス集計をかけることにより、財政状況の認知(問1～8)と新たな負担の必要性への理解(問9)の関係性について分析した。本ページと次ページの表では、縦軸に問1～8を、横軸に問9をとり集計している。
- 問1～問8については、それぞれの設問で「無回答」だった回答者についてのクロス集計結果の表記を省略している。そのため、縦方向の度数の合計が全体の度数に一致しない。

集計結果：財政状況の認知(問5～8)と新たな負担の必要性への理解(問9)

人件費の削減(問5)×(問9)

	新たな負担の 必要性は理解 できる	新たな負担の 必要性は理解 できない	無回答	合計
全体	133 51.8%	118 45.9%	6 2.3%	257 100.0%
知っていた	35 54.7%	27 42.2%	2 3.1%	64 100.0%
知らなかった	98 51.0%	91 47.4%	3 1.6%	192 100.0%

社会インフラの維持のための経費削減(問6)×(問9)

	新たな負担の 必要性は理解 できる	新たな負担の 必要性は理解 できない	無回答	合計
全体	133 51.8%	118 45.9%	6 2.3%	257 100.0%
知っていた	40 52.6%	34 44.7%	2 2.6%	76 100.0%
知らなかった	93 51.7%	84 46.7%	3 1.7%	180 100.0%

基金の残高状況(問7)×(問9)

	新たな負担の 必要性は理解 できる	新たな負担の 必要性は理解 できない	無回答	合計
全体	133 51.8%	118 45.9%	6 2.3%	257 100.0%
知っていた	19 44.2%	21 48.8%	3 7.0%	43 100.0%
知らなかった	114 53.5%	97 45.5%	2 0.9%	213 100.0%

観光客対応のために一部行政サービスが高コストである点(問8)×(問9)

	新たな負担の 必要性は理解 できる	新たな負担の 必要性は理解 できない	無回答	合計
全体	133 51.8%	118 45.9%	6 2.3%	257 100.0%
知っていた	54 52.9%	46 45.1%	2 2.0%	102 100.0%
知らなかった	78 51.0%	72 47.1%	3 2.0%	153 100.0%

- 財政状況の認知(問1～8)について「知っていた」とする回答者、「知らなかった」とする回答者いずれも、新たな負担の必要性への理解(問9)は「理解できない」と回答する割合が概ね45%前後でほぼ同じ水準となっている。

まとめ

町の財政状況の認知(問1～8)

- 回答者の5割以上が「知っていた」とする選択肢はなかった。
- 町税収入の減少(問1)や社会保障費の増加(問2)、観光客対応のために一部行政サービスが高コストである点(問8)については、他の財政状況に関する質問に比べて「知っていた」とする回答者の割合が高い。しかし、その割合は4～5割にとどまる。
- 一方、公債費の増加(問3)、事務量の増加(問4)、人件費の削減(問5)、社会インフラ維持のための経費削減(問6)については、「知っていた」とする回答者の割合は2～3割にとどまる。

新たな負担の必要性への理解(問9)

- 「新たな負担の必要性は理解できる」とする回答者と、「新たな負担の必要性は理解できない」とする回答者の割合はそれぞれ約5割と拮抗している。

財政状況の認知(問1～8)と新たな負担の必要性への理解(問9)の関係性について

- 財政状況の認知について「知っていた」か「知らなかった」かの違いによって、新たな負担の必要性への理解に大きな差は見られなかった。